

6 各科目シラバス

科目選択コード	614130102(2年) 614130103(3年)	科目名	ビジネス・コミュニケーション	単位数	4単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	ビジネス・コミュニケーション(実教出版)			
	副教材	ビジネス文書実務検定模擬問題集1・2級、ビジネスコミュニケーション準拠問題集(実教出版)			
到達目標	企業の組織について理解し、組織の一員として働く場合の心がまえを身につける。 人的ネットワークを構築することの重要性を理解する。				
選択条件	①職業人として必要な豊かな人間性、他者とコミュニケーションを図り協働する力などを身に付けたい生徒。 ②ビジネス文書実務検定1級の取得を目指している生徒。				
	【補足】 卒業後、就職を考えている人に適しています。誰もがいずれ社会人となるので、進学を考えている人も選択することができます。特に、経済学部や商学部などの大学を希望している人には適しています。				
授業内容	①ビジネスとコミュニケーション ②ビジネスマナー ③ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション ④ビジネスと外国語 ⑤ワープロの基礎知識、文字の入出力 ⑥Wordの基本的な操作 ⑦ビジネス文書の作成				
学習方法	積極的に学ぶために、日頃から経済社会について興味、関心をもって生活するよう心掛けることが大切です。				
評価の観点	知識・技能	実際のビジネスにおけるコミュニケーションと関連付け、ビジネスの様々な場面で役立つコミュニケーションに関する知識と技術を身に付けている。			
	思考・判断・表現	ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見するとともに、コミュニケーションに関する理論、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を養っている。			
	主体的に学習に取り組む態度	自らコミュニケーションについて学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にビジネスにおいてコミュニケーションを図る態度を養っている。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト・定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢、授業中の態度、課題・提出物、グループ活動			

6 各科目シラバス

科目選択コード	614140102(2年) 614140103(3年)	科目名	マーケティング	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	マーケティング(実教出版)			
	副教材	マーケティング準拠問題集(実教出版)、令和8年度版全商商業経済検定1・2級(実教出版)			
到達目標	マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を見に付けるようにする。マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する能力を養う。				
選択条件	①国立大学や私立大学でマーケティングを学びたいと考えている生徒。 ②現代社会で起こっている事象の成り立ちを学びたいと考えている生徒。 ③全商商業経済検定2級マーケティング部門を取得したいと考えている生徒。				
	【補足】				
授業内容	①マーケティングの概要 ②消費者行動の理解 ③市場調査 ④STP ⑤製品政策 ⑥価格政策 ⑦チャンネル政策 ⑧プロモーション政策				
学習方法	①全商商業経済検定2級を取得することができます。全商商業経済検定マーケティング部門に合格すると、日商リテールマーケティング検定試験において、科目免除のひとつになります。 ②日常の様々な事柄は、すべてマーケティングによって説明できます。日々のニュースに興味を持ちましょう。				
評価の観点	知識・技能	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマーケティングについて学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、責任をもって取り組んでいる。			
	思考・判断・表現	経済社会にあつて、マーケティングをはじめとした様々な知識、技術などを活用し、マーケティングに関する課題を発見するとともに、科学的根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。			
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマーケティングについて学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、責任をもって取り組んでいる。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に挑む態度、授業中の態度			

6 各科目シラバス

科目選択コード	614160103	科目名	観光ビジネス	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	観光ビジネス(実教出版)			
	副教材	観光ビジネス 準拠問題集(実教出版)			
到達目標	観光ビジネスについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を見に付けるようにする。観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する能力を養う。				
選択条件	①観光やサービス業に興味のある生徒。 ②将来、旅行業界、鉄道業界に就職を考えている生徒。				
	【補足】 観光系の専門学校に進学を希望する生徒。				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光の発達史・現況 ・文化と観光 ・観光産業と観光経営 ・宿泊観光ビジネス ・ニューツーリズムの誕生と新しい観光ビジネス 				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域での観光スポットなどに興味を持ち、どのようにビジネス展開できるか、考えてみてください。 ・旅行のテレビ番組、CMなどをよく観察してください。 ・時刻表が読めるようにしてください。 				
評価の観点	知識・技能	観光の基礎的・基本的な用語や知識を理解し、教科書の用語や文章を理解できる。			
	思考・判断・表現	課題の解決方法をビジネスの視点から、適切に判断することができる。(授業での課題制作) 課題を解決する際にどこに着眼点をおいているか。(表現)			
	主体的に学習に取り組む態度	課題を自ら進んで、知識を活用し、解決しようと取り組むことができる。(授業での課題発表)			
評価方法	知識・技能	課題、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に取り組む態度、授業時の態度			

6 各科目シラバス

科目選択コード	614180102(2年) 614180103(3年)	科目名	グローバル経済	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	グローバル経済(実教出版)			
	副教材	グローバル経済準拠問題集(実教出版)、令和8年度版全商商業経済検定1・2級(実教出版)			
到達目標	「ヒト・モノ・カネ・情報」という経済活動に欠かせない資源の移動に関して、グローバル経済社会が果たす役割を習得する。				
選択条件	①4年制大学進学を希望する生徒で、経済学部志望の生徒。 ②経済に興味がある生徒。				
	【補足】 経済活動での市場の重要性を理解し、知識や技能を身につけたい人が選択してください。4年制大学(経済学部・商学部)の進学希望者に向いています。併せて、職業人として必要な豊かな人間性、他者とコミュニケーションを図り協働する力などを身に付けます。				
授業内容	①市場と経済 ②需要と供給 ③価格決定と市場の役割 ④経済成長と景気循環 ⑤経済政策				
学習方法	積極的に学ぶために、日頃から経済社会について興味、関心をもって生活するよう心掛けることが大切です。				
評価の観点	知識・技能	市場経済の意義や役割を理解し、基礎的・基本的な知識と技術を身に付けている。			
	思考・判断・表現	経済活動に関する諸問題の解決をめざして思考を深め、図や式を用いて問題解決に活用したり、効果的に表現したりすることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	経済活動での市場の重要性を理解し、日常のビジネス社会のできごとに関心を持っている。経済活動に関する諸問題の解決に主体的、協働的に取り組もうとする。			
評価方法	知識・技能	定期考査、小テスト			
	思考・判断・表現	定期考査、小テスト			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に取り組む態度、授業時の態度			

6 各科目シラバス

科目選択コード	614190103	科目名	ビジネス法規	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	ビジネス法規(実教出版)			
	副教材	ビジネス法規準拠問題集(実教出版)、令和8年度版全商商業経済検定1・2級(実教出版)			
到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を育成することを目指す。				
選択条件	①全商商業経済検定の受験を考えている生徒。				
	【補足】 卒業後、日商リテールマーケティング検定3級受験を考えている人は、「マーケティング」の科目を選択したら、受験に有利になります。				
授業内容	①法の概要 ②権利・義務と財産権 ③財産権の変動 ④企業活動と法規 ⑤企業責任と法規 ⑥紛争の解決と予防 ⑦税と法規				
学習方法	①新聞やニュースを見る習慣をつけましょう。 ②社会の出来事に関心を持つようにしましょう。 ③法律用語をしっかりと覚えましょう。法律を身近なものとして、捉えることができるようになります。 ④検定合格を目指している人は、教科書をしっかり読み、繰り返し問題集で学習してください。				
評価の観点	知識・技能	ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解する。			
	思考・判断・表現	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に取り組む態度、授業時の態度			

6 各科目シラバス

科目選択コード	614200101	科目名	簿記	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	新簿記 改訂版(実教出版)			
	副教材	最新段階式 簿記検定問題集 全商3級・全商2級 改訂版 (実教出版) 令和8年度版 全商簿記実務検定 模擬試験問題集3級(実教出版)			
到達目標	<p>○実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>○ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。</p>				
選択条件	<p>①4年制大学(文系の中でも特に商学部や経済学部)の進学を希望する生徒で、総合型選抜や推薦型選抜入試で受験する生徒。</p> <p>②就職希望者で事務系を希望する生徒。</p> <p>③簿記の知識を身につけたい生徒。</p>				
	<p>【補足】 次年度で原価計算、財務会計Ⅰを選択履修し、全商簿記実務検定1級又は日商簿記検定2級を取得するための基礎科目となります。</p>				
授業内容	<p>授業は講義形式で進め、練習問題を解いていきます。</p> <p>①簿記の基礎 ②資産・負債・資本と貸借対照表 ③収益・費用と損益計算書 ④取引の記帳 ⑤決算 ⑥帳簿と伝票</p>				
学習方法	<p>全商簿記実務検定3級(1月)の取得を目指して授業を進めるので、授業進度は早いです。できるだけ休まないこと。また、授業中に分からないところが出てきたら、そのままにせず、その時間内に解消していくように努めてください。</p> <p>お互いに教え合うこともあるので、積極性を持って授業に臨むこと。</p> <p>計算用具(電卓や算盤)を常に持参し、線を引くときは定規と赤ペンを使用します。</p>				
評価の観点	知識・技能	基本的なしくみ適正な会計処理を行うことを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。			
	思考・判断・表現	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。			
	主体的に学習に取り組む態度	簿記について関心をもち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組もうとするとともに、会計処理を行う実践的な態度を身につけている。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢、授業中の態度、課題提出			

6 各科目シラバス

科目選択コード	614210102	科目名	財務会計Ⅰ	単位数	4単位
履修年次	2年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	新財務会計Ⅰ(実教出版)			
	副教材	反復式会計問題集全商1級会計(実教出版) 令和8年度版全商簿記実務検定模擬試験問題集1級会計(実教出版)			
到達目標	商業の見方、考え方を働かせ、実践的、体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質、能力を育成する。				
選択条件	①国公立大学や私立大学の商業高校卒受験を考えている生徒。 ②金融機関や一般企業の事務職を希望している生徒。 ③日商簿記検定2級及び全商簿記実務検定1級の取得を希望している生徒。 ④1年次に簿記を履修した生徒。 ⑤原価計算とセットで履修する生徒。				
	【補足】				
授業内容	①財務会計の基礎 ②貸借対照表について ③損益計算書について ④財務諸表活用の基礎 ⑤連結財務諸表について				
学習方法	全商簿記実務検定1級(6月、1月)日商簿記検定2級(2月)の取得を目指して授業を進めるので、授業進度は早いです。できるだけ休まないこと。また、授業中に分からないところが出てきたら、そのままにせず、その時間内に解消していくように努めてください。 お互いに教え合うこともあるので、積極性を持って授業に臨むこと。				
評価の観点	知識・技能	財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。			
	思考・判断・表現	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに会計的側面から企業を分析する力を養う。			
	主体的に学習に取り組む態度	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとする。			
評価方法	知識・技能	提出物、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	提出物、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢、グループ活動			

6 各科目シラバス

科目選択コード	614220103	科目名	財務会計Ⅱ	単位数	4単位
履修年次	3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	財務会計Ⅱ(TAC)			
	副教材	2026年度版 日商簿記検定模擬試験問題集2級 商業簿記・工業簿記(実教出版)			
到達目標	財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力と適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
選択条件	①国公立大学や私立大学の商業高校卒受験を考えている生徒。 ②金融機関や一般企業の事務職を希望している生徒。 ③日商簿記検定2級及び全商簿記検定1級の取得を希望している生徒。 ④1年次に簿記を履修した生徒。 ⑤2年次に「財務会計Ⅰ」と「原価計算」をセットで履修した生徒。				
	【補足】				
授業内容	企業結合の形態、合併後の財務諸表の作成など企業集団の会計に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適切な会計情報の提供と効果的な活用について学習する。				
学習方法	①全商簿記実務検定1級内容の復習をします。 ②日商簿記検定2級の対策を行います。 ②お互いに教え合うことが多いので、積極性を持って授業に臨むこと。				
評価の観点	知識・技能	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用することができる。			
	思考・判断・表現	ビジネスの諸活動に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの諸活動に関する諸活動について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけることができる。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に挑む態度、授業中の態度			

6 各科目シラバス

科目選択コード	614230102	科目名	原価計算	単位数	4単位
履修年次	2年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	原価計算(実教出版)			
	副教材	反復式原価計算問題集全商1級原価計算(実教出版) 令和8年度版全商簿記実務検定模擬試験問題集1級原価計算(実教出版)			
到達目標	商業の見方、考え方を働かせ、実践的、体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質、能力を育成する。				
選択条件	①国公立大学や私立大学の商業高校卒受験を考えている生徒。 ②金融機関や一般企業の事務職を希望している生徒。 ③日商簿記検定2級及び全商簿記実務検定1級の取得を希望している生徒。 ④1年次に簿記を履修した生徒。 ⑤財務会計Iとセットで履修する生徒。				
	【補足】				
授業内容	①原価計算の基礎 ②原価の費目別計算・部門別計算・製品別計算 ③製品の完成・販売と決算 ④原価情報の活用				
学習方法	全商簿記実務検定1級(6月、1月)日商簿記検定2級(2月)の取得を目指して授業を進めるので、授業進度は早いです。できるだけ休まないこと。また、授業中に分からないところが出てきたら、そのままにせず、その時間内に解消していくように努めてください。 お互いに教え合うこともあるので、積極性を持って授業に臨むこと。				
評価の観点	知識・技能	原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について、実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。			
	思考・判断・表現	原価計算・原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見出し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠にもとづいて創造的に課題に対応する力を養う。			
	主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
評価方法	知識・技能	提出物、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	提出物、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢、グループ活動			

6 各科目シラバス

科目選択コード	614250102(2年) 614250103(3年)	科目名	情報処理	単位数	4単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	情報処理 新訂版(東京法令出版)			
	副教材	情報処理検定試験模擬問題集2級ビジネス情報編(とうほう) 情報処理技能検定試験表計算模擬問題集1級・準1級編、2級・準2級編(日本情報処理検定協会)			
到達目標	企業で情報を適切に扱うための知識や技術を、実務に即して体系的・系統的に身に付ける。情報を適切に扱うことで、様々な問題を発見し、解決していくための力を身に付ける。情報に関する知識や技術を活用し、主体的かつ協働的に問題を解決し、改善していかうとする態度を身に付ける。				
選択条件	①4年制大学・短大の進学希望者で商業科の推薦枠で受験する生徒。 ②就職希望者で、事務職を希望する生徒。 ③情報処理の知識・実技を身につけたい生徒。				
	【補足】 特に、①の場合は、2年次に選択する必要があります。				
授業内容	授業はパソコン実習形式で進めますが、筆記試験対策として座学も行います。 ①ハードウェア・ソフトウェアに関する知識 ②通信ネットワークに関する知識 ③情報モラルとセキュリティに関する知識 ④表計算ソフトの活用 ⑤データベースソフトウェアの活用 ⑥実技問題				
学習方法	9月と1月に行われる全商情報処理検定1・2級を目指し、模擬試験問題集を中心に学習します。ソフトウェアの操作については、基本を一つ一つ確認し、技術の習得だけでなく、どのように活用できるかを考えることが大切です。 先生から言われたことだけをやるのではなく、自ら積極的に練習問題などを解きましょう。特に、検定前は、パソコン室などを使用して機械にも慣れることです。				
評価の観点	知識・技能	ビジネスにおいて役立てることができる、情報を収集・処理・分析・表現するための、基礎的基本的な知識や技術を身に付ける。			
	思考・判断・表現	情報を扱うための知識や技術を活用して、情報に関する課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力を身につける。			
	主体的に学習に取り組む態度	組織の一員として自己の役割を認識し、情報に関する知識や技術を活用して、協働して課題を解決していかうとする態度を身につける。			
評価方法	知識・技能	課題提出、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	課題提出、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢、授業中の態度、課題提出			

6 各科目シラバス

科目選択コード	614300102(2年) 614300103(3年)	科目名	OA事務	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書				
	副教材	全商ビジネス計算実務検定問題集1・2・3級(実教出版)			
到達目標	電卓の指導を通して、早く正確に加減乗除およびビジネス計算ができ、一人ひとりが自主的にPC機能を扱えることで将来に役立つ力を身につけることができる。				
選択条件	①全商ビジネス文書実務検定、全商ビジネス計算実務検定の資格を取得したい生徒。 ②就職を希望する生徒。				
	【補足】				
授業内容	ワープロ、電卓の実習を中心にを行います。 ①キータイピング練習 ②電卓の機能を利用した普通計算(乗算、除算、見取算、伝票算) ③電卓の機能を利用したビジネス計算 ④全商ビジネス文書実務検定、全商珠算・電卓実務検定対策				
学習方法	①全商ビジネス文書実務検定、全商ビジネス計算実務検定の資格を取得することができます。 ②実習が中心の科目ですので、自ら積極的に取り組んでください。 ③キータッチは根気強さが必要です。毎日コツコツ指を動かす練習をしてください。				
評価の観点	知識・技能	商業の分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの意義や役割を理解することができる。			
	思考・判断・表現	ビジネス活動に関する課題解決を目指し、思考を深め、適切に判断し、表現する能力を身につけることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの諸活動の学習に主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけることができる。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業中の態度			

6 各科目シラバス

科目選択コード	614310102(2年) 614310103(3年)	科目名	リテールマーケティング	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	リテールマーケティング検定3級テキスト(成美堂出版)			
	副教材	日商リテールマーケティング(販売士)、検定試験3級(実教出版)			
到達目標	小売店舗運営の基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネス創造の意義や役割について探求させ、ビジネス社会に対応できる能力と態度を育てる。				
選択条件	①就職希望者で、販売職を希望する生徒。 ②将来、起業を考えている生徒。 ③販売の知識を身につけたい生徒。				
	【補足】 日商リテールマーケティング検定3級の受験は、ネット受験になります。 受験料は、3級:4,400円、2級:6,600円です。				
授業内容	授業は、講義形式で進め、練習問題を解いていきます。 ①小売業の種類 ②マーチャンダイジング ③ストアオペレーション ④マーケティング ⑤販売・経営管理				
学習方法	①リテールマーケティング検定試験問題集を中心に学習し、日商リテールマーケティング検定3級を受験できる能力を身に付けます。 ②日頃から、経済やビジネス・法律のことに興味を持ち、百貨店や専門店の対応・店の雰囲気などをよく観察しましょう。 ③服装や言葉遣い・立ち振る舞いなどの自分の行動も良くなるように心掛けましょう。				
評価の観点	知識・技能	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの意義や役割を理解することができる。			
	思考・判断・表現	ビジネスにおける諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する能力を身につけることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの諸活動について興味を持ち、主体的に取り組み、実践的な態度を身につけることができる。			
評価方法	知識・技能	課題、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に取り組む態度、授業時の態度			

6 各科目シラバス

科目選択コード	614320102(2年) 614320103(3年)	科目名	秘書入門	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	秘書検定3級集中講義改訂版(早稲田教育出版)			
	副教材				
到達目標	今日、さまざまな場でコミュニケーションを図ることができる能力が求められている。そこで職場のマナーを十分に心得て良好な人間関係を築くことができるように、秘書を通してビジネス社会を生きていく力をつけさせる。				
選択条件	①秘書技能検定3級を取得したいと考えている生徒。 ②ビジネス社会における基本的なマナーを身につけたい生徒。				
	【補足】				
授業内容	秘書技能検定3級対策 ①必要とされる資質 ②職務知識 ③一般知識 ④マナー・接遇 ⑤技能				
学習方法	①秘書技能検定3級(6月・11月・2月)を取得できます。 ②日頃から社会の動きに注意し、新聞やニュースを見る習慣をつけましょう。 ③電話応対やお茶の入れ方など、すぐにでも実践できることは、家庭でも取り組みましょう。				
評価の観点	知識・技能	商業の各分野に関する基礎的な技術を身に付け、ビジネスの意義や役割を理解することができる。			
	思考・判断・表現	諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し表現する創造的な能力を身に付けることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの諸活動について関心を持ち、主体的に取り組み、実践的な態度を身に付けることができる。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に挑む態度、授業中の態度			